

### 3. ワークショップ実施内容

#### <概要>

令和7年度にワークショップ(全2回)を実施しました。グループワークを実施し、意見交換を行った内容を再編整備プランに反映しました。

#### <募集方法>

市報・市ホームページへの掲載、現地掲示、市公式 SNS 等を用いた周知を行い、事前申し込み制とし、定員に応じた幅広い年代の地域の方にご参加いただきました。

#### <各回のテーマと内容>

| 知る・聞く<br>第1回ワークショップ           | 想像して描く<br>第2回ワークショップ                  |
|-------------------------------|---------------------------------------|
| <b>テーマ</b> 公園の今とこれからについて考えよう！ | <b>テーマ</b> 具体的な公園のプランを考えよう！           |
| <b>目的</b> 課題の整理と目標設定          | <b>目的</b> 市作成プランに対する意見交換<br>公園の使い方の検討 |

### 4. 事業のスケジュール案

|    | 令和8年度 | 令和9年度 |
|----|-------|-------|
| 設計 | →     |       |
| 施工 |       | →     |

詳細が決まり次第、市ホームページにてお知らせいたします。

#### 八雲台公園周辺実施区域 機能再編整備プラン

発行日：令和8年3月

発行：調布市

編集：調布市 環境部 緑と公園課

〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1

TEL：042-481-7081

FAX：042-481-7550

Mail：midori@w2.city.chofu.tokyo.jp

登録番号（刊行物番号）

2025-200

※本パンフレットで使用している図の背景地図は、東京都都市整備局及び株式会社ミッドマップ東京の東京都縮尺 1/2,500 地図形を使用して作成したものである。無断転写を禁ずる。(承認番号：MMT 利許第 23052 号-110)

## 八雲台公園周辺実施区域 機能再編整備プラン





# 1. 対象公園の現状と再編する機能

八雲台公園周辺実施区域の対象公園7園について、利用実態や近隣住民のニーズを踏まえ、過年度の再整備プラン（案）の内容を見直し、機能再編を検討しました。

■比較的大きな公園（八雲台公園・下布田公園）は、子どもの利用人数の多さや保育園利用を考慮し、「遊び機能」を強化します。

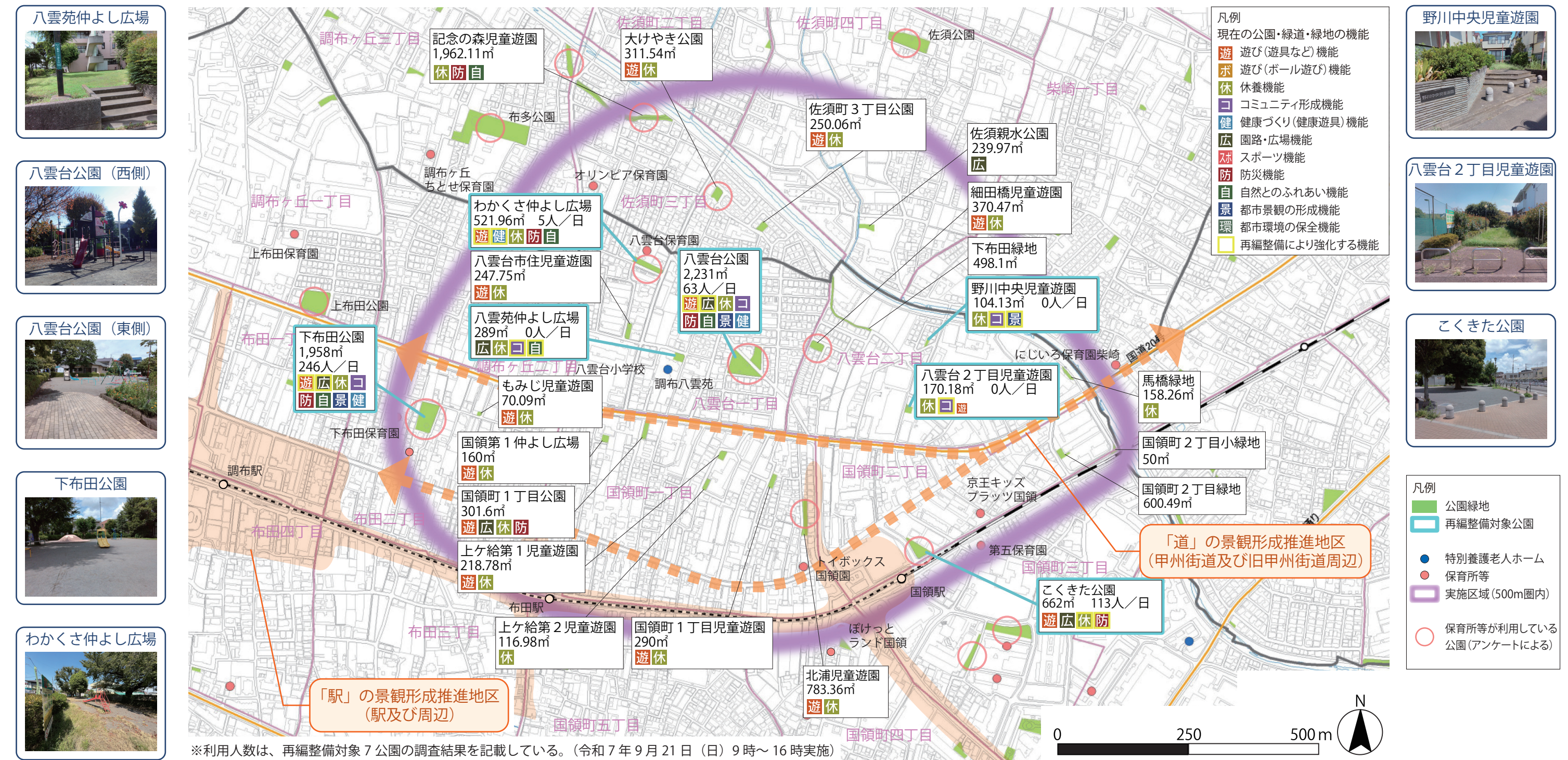
◇八雲台公園、下布田公園は、遊具の更新や、ゴムチップ舗装を行うことで遊具利用の安全対策の強化を行います。

■小規模公園（野川中央児童遊園・八雲苑仲よし広場・こくきた公園・八雲台二丁目児童遊園・わかさ仲よし広場）は、機能を分散し、各公園に特色を持たせます。

◇野川中央児童遊園・八雲苑仲よし広場・八雲台2丁目児童遊園は、利用者が少ないことを考慮し、遊びの機能から「コミュニティ形成機能」へ転換を図ります。

◇こくきた公園は、駅前立地を活かし、「休養機能」や「防災機能」を強化します。

◇わかさ仲よし広場は、保育園利用や高齢者居住者が多い特徴を活かし、多世代が利用できる公園として、「遊び機能」の強化の他に、子どもから大人まで使える「健康づくり機能」を拡充します。





# 対象公園の再編整備プラン

※黒色：既存施設、オレンジ色：改修施設

※各公園の画像はイメージ参考であり確定したものではありません。

①八雲台公園

### <整備方針>

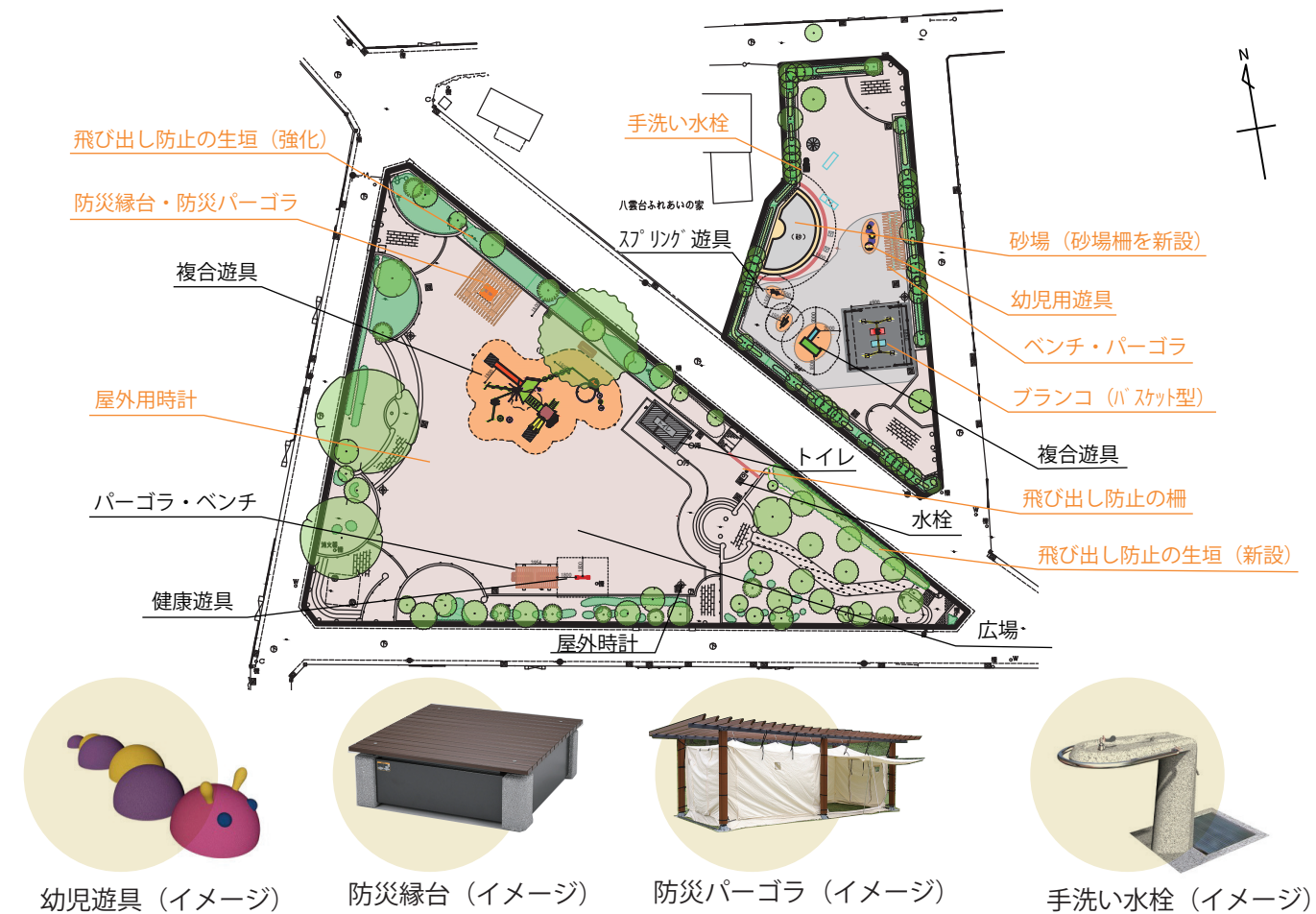
- ・東側は幼児用、西側は児童用とし、安全に遊べるようにゾーニングします。

◎詳細 東側（幼児用）

- ・衛生的な環境を保つため、猫等の侵入を防止する縦格子の柵を設け、手洗い水栓を設けます。
- ・ベンチにパーゴラ（日よけ）を設置します。
- ・ブランコはバスケット型を導入、また幼児用遊具を追加し、幼児が安全に楽しく遊べる環境を整えます。
- ・幼児が安全に遊べるように遊具周囲にゴムチップ舗装を行います。

◎詳細 西側（児童用）

- ・ベンチにパーゴラ（日よけ）を設置します。防災機能強化のため、災害用品を収納できる防災縁台や、災害時にテントになる防災パーゴラも設けます。
- ・自由な遊びができるように、広場空間を確保します。
- ・八雲台通りへの飛び出しを防止するため、より密度の高い植栽や柵を設置します。
- ・既存の屋外時計が老朽化等により更新が必要となった際は、自然エネルギーを電源とするものに更新するなど環境面に配慮します。



幼児遊具（イメージ）

防災縁台（イメージ）

防災パーゴラ（イメージ）

手洗い水栓（イメージ）

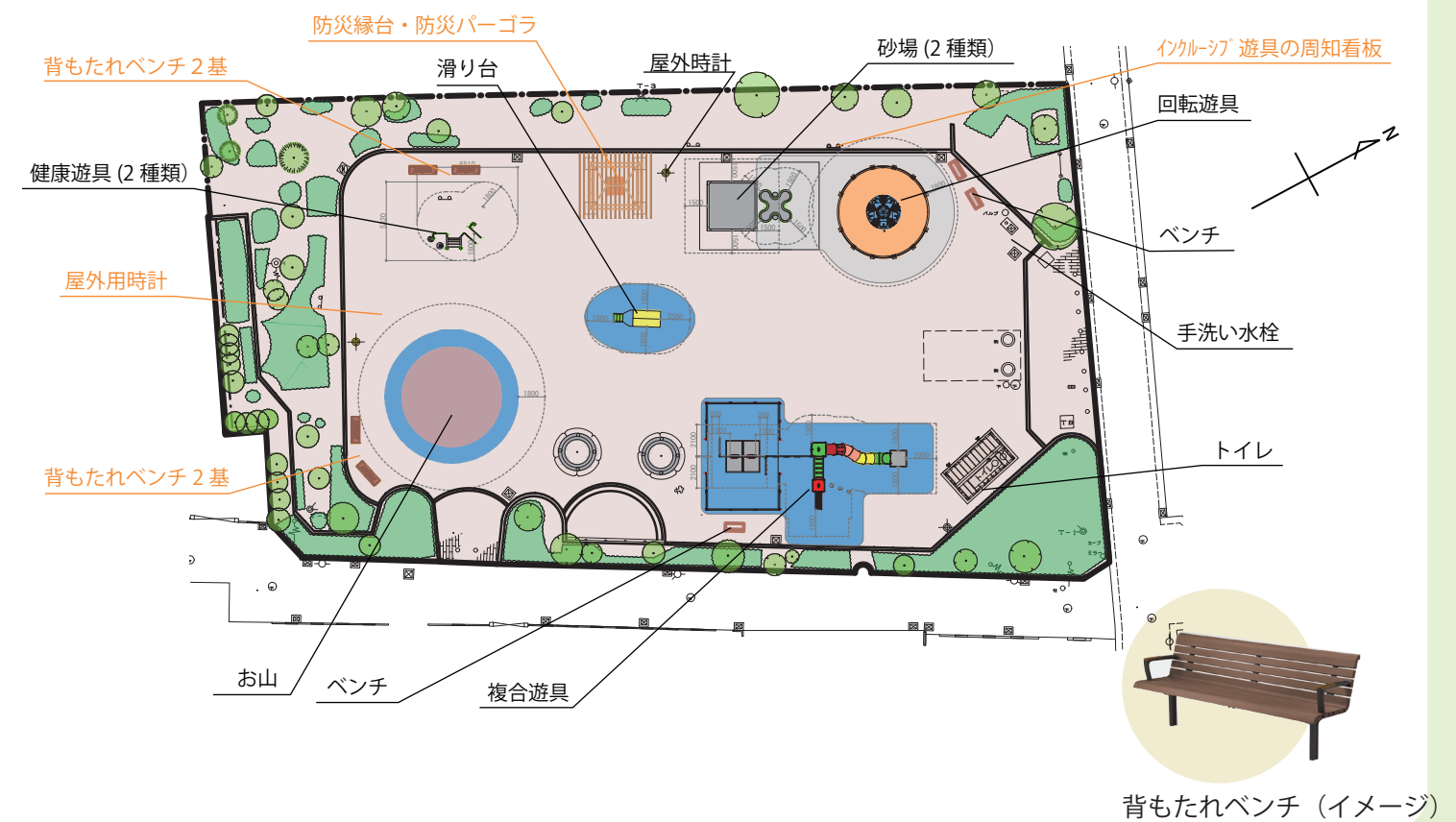
②下布田公園

<整備方針>

- ・たくさんの子どもが遊んでいる公園である特徴を活かし、遊び機能を強化します。

◎詳細

- ・既存の遊具がインクルーシブ遊具（障がいのある子もない子も遊べる遊具）であることを活かすため、インクルーシブ遊具の説明や遊び方を記載した看板を設置します。
- ・より安全に遊べるように、遊具周囲にゴムチップ舗装を行います。  
ゴムチップ舗装の配色は、動的な遊具（複合遊具、滑り台、お山）と静的な遊具（砂場２種類）で色彩を変えることで、ゾーニングを図ります。
- ・保護者や近隣住民が休息をとれるように、背もたれベンチを追加します。
- ・防災機能強化のため、災害用品を収納できる防災縁台や、災害時にテントになる防災パーゴラ（日よけ）も設けます。
- ・既存の屋外時計が老朽化等により更新が必要となった際は、自然エネルギーを電源とするものに更新するなど環境面に配慮します。



背もたれベンチ（イメージ）



## 対象公園の再編整備プラン

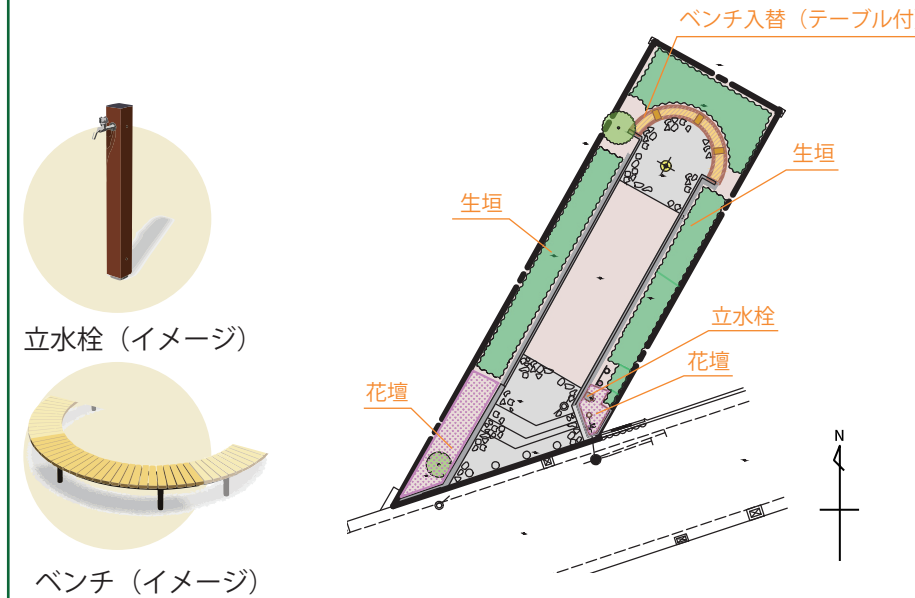
※黒色：既存施設、オレンジ色：改修施設

※各公園の画像はイメージ参考であり確定したものではありません。

### ③野川中央児童遊園

#### ＜整備方針＞

- ・明るいカラーのベンチに入れ替えます。
- ・花壇を設け、憩いと交流を生み出す空間とします。
- ・花壇の管理のため、立水栓を設けます。



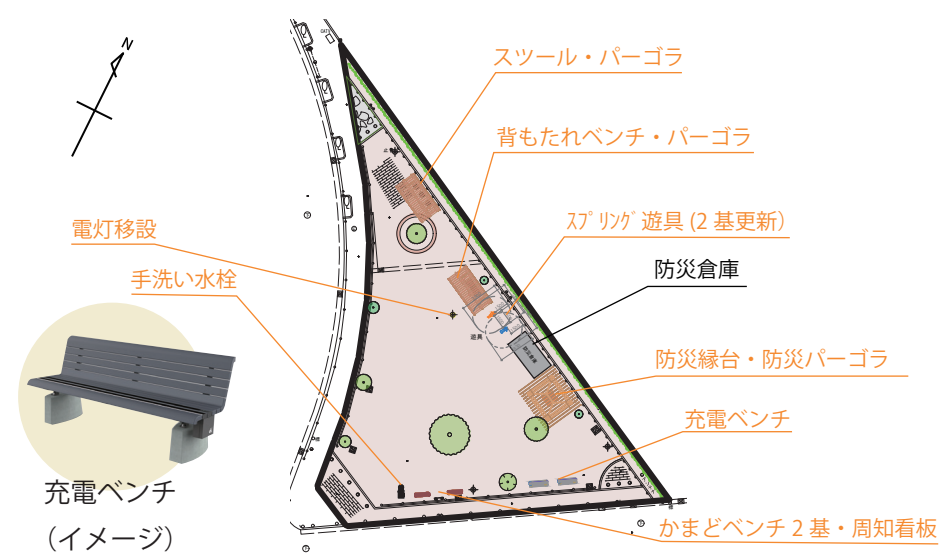
立水栓 (イメージ)

ベンチ (イメージ)

### ⑤こくきた公園

#### ＜整備方針＞

- ・駅前立地を活かし、休養ができるベンチやパーゴラ (日よけ) を増やします。
- ・かまどベンチや充電ベンチ、災害時にテントになるパーゴラ等を設置し防災機能を強化します。



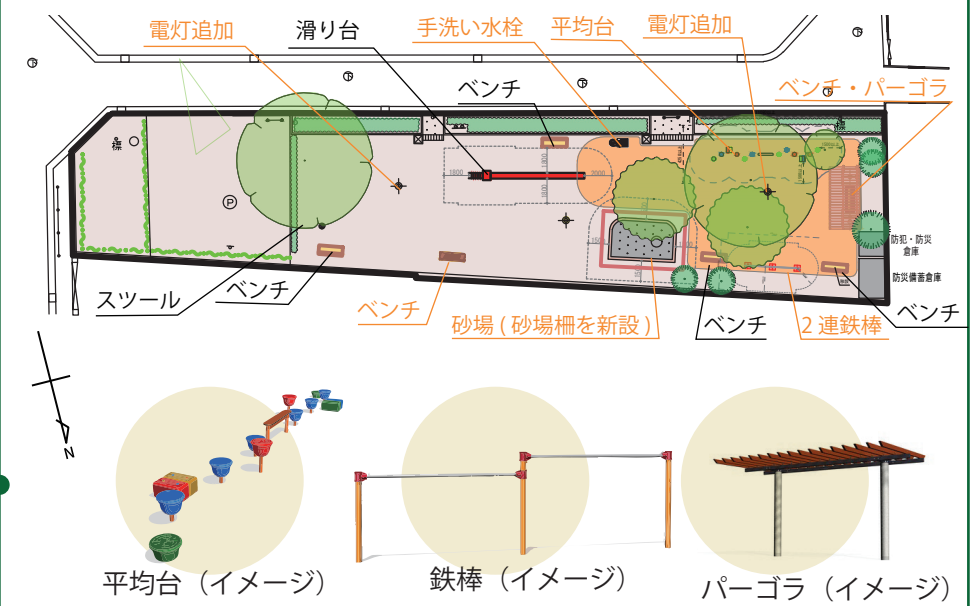
防災パーゴラ (イメージ)

充電ベンチ (イメージ)

### ⑦わかくさ仲よし広場

#### ＜整備方針＞

- ・運動ができる「鉄棒」と「平均台」増やします。
- ・砂場は衛生的な環境を保つため、猫等の侵入を防止する縦格子の柵を設け、手洗い水栓を設けます。
- ・雨や日光を遮るパーゴラを設置します。
- ・ゴムチップ舗装や電灯を追加し、明るい公園にします。



平均台 (イメージ)

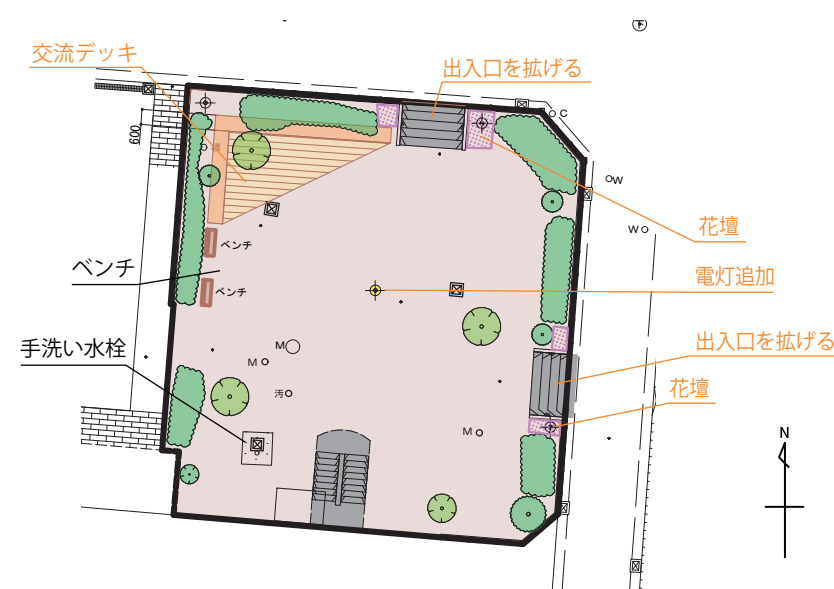
鉄棒 (イメージ)

パーゴラ (イメージ)

### ④八雲苑仲よし広場

#### ＜整備方針＞

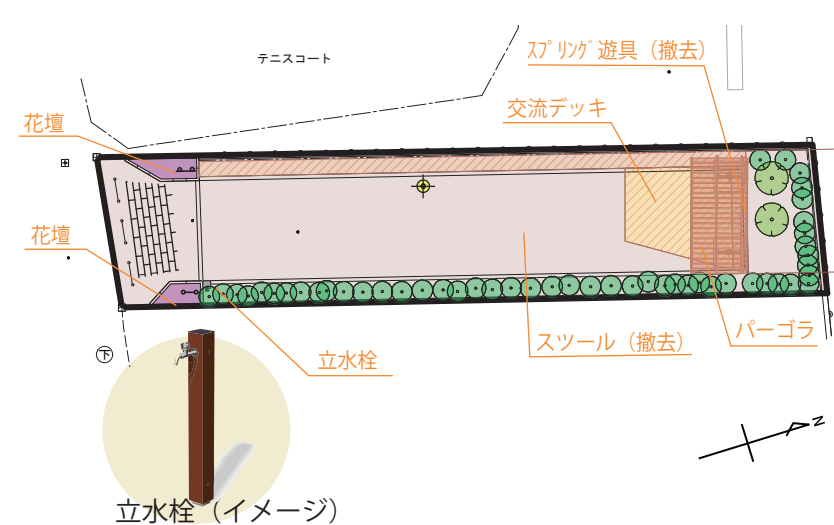
- ・ウッドデッキを設け、多世代が交流できる空間を創出します。
- ・出入口を拡げ、道路からの視認性を向上させます。



### ⑥八雲台二丁目児童遊園

#### ＜整備方針＞

- ・ウッドデッキを設け、イベント等で活用できる空間を創出します。
- ・花壇を設け、憩いと交流を生み出す空間とします。
- ・花壇の管理のため、立水栓を設けます。



立水栓 (イメージ)

## 2. 運用ルールについて

- ・一部公園での「禁止」ではなく「できる」ことがわかる看板や多言語化の看板の試行設置を検討します。
- ・夏の花火の使用について、市内全域で場所等について検討します。(時期・場所限定等、ルールを検討します)

